

## 朝の打ち合わせ（６月３日（木））

○昨日２日（水）、教育事務所（所長、次長、指導主事、駐在管理主事）による学校訪問。授業参観（学習指導案を含む。）や研究協議等の準備・実施について感謝申し上げます。

○教育事務所からいただいた貴重な指導助言等を踏まえ、我が校の教育実践について、一層の改善・工夫に努めていきましょう。

※主なコメント（教育事務所の皆様、ご指導等ありがとうございます。）

### <授業参観>

- ・どの先生も授業の目標を板書しており、何を目指した授業なのか明確だった。振り返りもあり、今日の授業で何を学んだのか、次の授業にどうつながるのかについて、生徒もよくわかる。
- ・電子黒板やi P a dといったＩＣＴの活用、グループでの話し合い、ワークシートの活用、生徒の発言を引き出す発問、丁寧な板書等々。どの先生も授業スタンダードを活用するなどして、授業の展開について工夫していた。
- ・先生それぞれが丁寧に指導しており、生徒一人一人が安心して授業を受けている。アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業が展開され、生徒も意欲的に取り組んでいる。

### <研究協議>

- ・育成する資質・能力の評価指標（ルーブリック）について、生徒の自己評価の結果（５月実施）を踏まえ、評価指標をどのように改善すべきか、生徒による自己評価についてどうすれば生徒の学びにつなげるかなど、先生どうして積極的に意見交換していた。
- ・日頃から、育成する資質・能力評価指標（ルーブリック）を意識しながら、教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動などに取り組んでいる様子が伝わった。

朝の打ち合わせ（６月１日（火）） 校長より

- 「指導と評価の一体化」「指導に生きる評価」などと言われる。これらの言い方には、評価結果を改善・工夫につなげる意味合いがある。PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルのCA（評価・改善）を重視すべきとの考えである。
- 評価結果を先生自身が授業改善に生かすこと、生徒が自分の学習改善に生かすことにより、我が校で育成したい資質・能力を確実に実現させることを目指すことが大切である。
- 明日２日（水）の学校訪問における研究協議題は、「育成する資質・能力の評価指標＜ルーブリック＞に基づいた指導と評価のPDCAサイクルの構築」である。協議を通して、指導主事の指導助言を仰ぎながら、我が校の教育実践の改善・工夫につなげましょう。

朝の打ち合わせ（５月３１日（月）） 校長より

- 感染症対策を徹底した上で感染リスクの高い学習活動を徐々に再開。
- 感染の再拡大防止へ、引き続き対策を徹底していきながら、生徒の学びを保障していきましょう。